

キーワードは「つくり出す」学び

AIをはじめとしてテクノロジーが急速に進化している今、変化の激しい時代を生き抜くために本当に必要な教育とは何か。今、注目されている「STEAM教育」について、他国のSTEAM教育の現状や今後の可能性について語っていただいた。講演のキーワードは「つくり出す」学び。そして、講師からは最後に「自分の内から湧き出るエネルギーを源に、『生み出していく』マインドを持ち新しいことや、正解のないものに対し、挑戦していく。そんな世代を、ここ伊那から、そして世界へ。」というメッセージが寄せられた。



Barbara Pool 代表取締役
一般社団法人STEAM JAPAN 代表理事
講師:井上祐巳梨 氏

子どもたちに向き合うときの心持ちが講演前後でだいぶ変わった

- ・講演会、とても充実した時間となりました。特に、海外の動向、質疑応答でのお話から、どのような人を育てていくのか、どのような教育をしていくのかといった深い視点をいただけたように思います。そして、井上さんが「マインドを変える」ということを何度も言われていたように、日々の実践レベルで子どもたちと学習を進めていく際の方向をいただき、エネルギーをいただけたように思います。多くの先生方は、何か変えたいけど、どのように変えていいのか、どこへ向かっていけばいいのか悶々とするなか、今日のご講演は、その道しるべをいただけたと思いました。
- ・経済、産業、教育と業界を広く俯瞰されたお立場からのお話で、日本の現況や課題を明確に示していただいたと理解しております。自身も含めて、現場の先生方にとって、子どもたちに向き合うときの心持ちが講演前後でだいぶ変わったのではないかと思います。貴重な機会のご提供に感謝いたします。ありがとうございました。
- ・日々社会に出ていく生徒のためになる学習を探し続けているが、今回の講演会はわくわくしながらお話を聴くことができた。今まで受けてきた研修会と違い、私自身がわくわくしているということは、生徒にとってもわくわくするような学びであると思った。学校単位でチャレンジしていくことは難しいが、様々な積み重ねを大事にし、沢山のことにチャレンジしていきたい。ありがとうございました。
- ・講演会の最後の質疑の時間は刺激を受けました。同時に若者の頼もしさを感じました。やりがいを持って進んでいる姿が素晴らしく、感じ入った先生方が多かったと思います。このようなことがカンファレンスの大きな役割の一つだと思います。

求められるスキル「クリエイティビティ」

「国や社会に対する意識調査」によれば日本の子どもたちは「自分で国や社会を変えられると思う」割合が調査9カ国の中で最も低くなっています。

急激な国際社会で求められる次世代に欲しいスキルのランキングでは「クリエイティビティ」が急上昇しています。自分が何かを創り出せる、やれるという自信を子どもたちに育む必要があります。

宿題も「創り出す学び」に移行している

イギリスの公立校の宿題の一つの例。国語・数学以外は選択、その宿題のほとんどで「クリエイティブ」を求めている。自分で何かを創り、みんなの前で発表したり教え合ったりすることが宿題の中にたくさん取り込まれている。チームビルディングの授業ではチームメイトを募集する動画を撮影。まさに社会に出て必要になるスキルを6～7歳から学んでいる。

子どもたちが大人になった時に必要な力

アメリカの公立校ハイテックハイの教育手法は教科横断型・プロジェクト（PBL）型のみ。教科書もテストもない。家庭環境や身体的・認知的特性に関わらず、すべての子どもが自分に価値を感じ、幸せに生きていくことを可能にする学校。デジタルポートフォリオにより生徒は「自分が何をやってきて、何ができる人材なのか」を自覚する。これは社会に出て必須となる。

身近な問題解決にチャレンジする

身の回りのことや、地域・社会課題で「解決したい!」と思うこと（課題抽出）に対し、具体スキル（STEM）を持って解決をしていく『STEAM人材』。海外ではそうした学生を表彰する取り組みなどが充実している。日本でも、「寝たきりのおばあちゃんとコミュニケーションを取りたい!」という想いで、画像解析のアプリを作った学生等、事例はある。元々スキルがなくても専門家に聞いて「つくり出していく」ことが今の時代では可能である。

ICT Conference in INA 井上氏の講演に関する感想の一部を紹介しました



ICT Conference in INA は伊那市全教職員の研修 ハイブリッドで開催しました

ICT Conference in INAでの井上祐巳梨氏の講演をもとに推進センターで編集させていただきました

井上祐巳梨氏による講演 **日本の未来を変える『STEAM教育』**は「伊那市教育チャンネル」(YouTube)で配信しています。

講演の内容につきましては上記の記事では充分に内容をお伝えできません。ぜひ「伊那市教育チャンネル」でご覧になって下さい。

